

## 「行革甲子園 2018」 エントリーシート

### 【取組の内容】

#### 1 取組事例名

- ・石鎚山系の魅力発信及び持続可能な資源とする事業  
(愛媛県西条市、久万高原町、高知県のいの町、大川村連携事業)



#### 2 取組期間

- ・平成 28 年度 (11 月) ～ 継続中

#### 3 取組概要

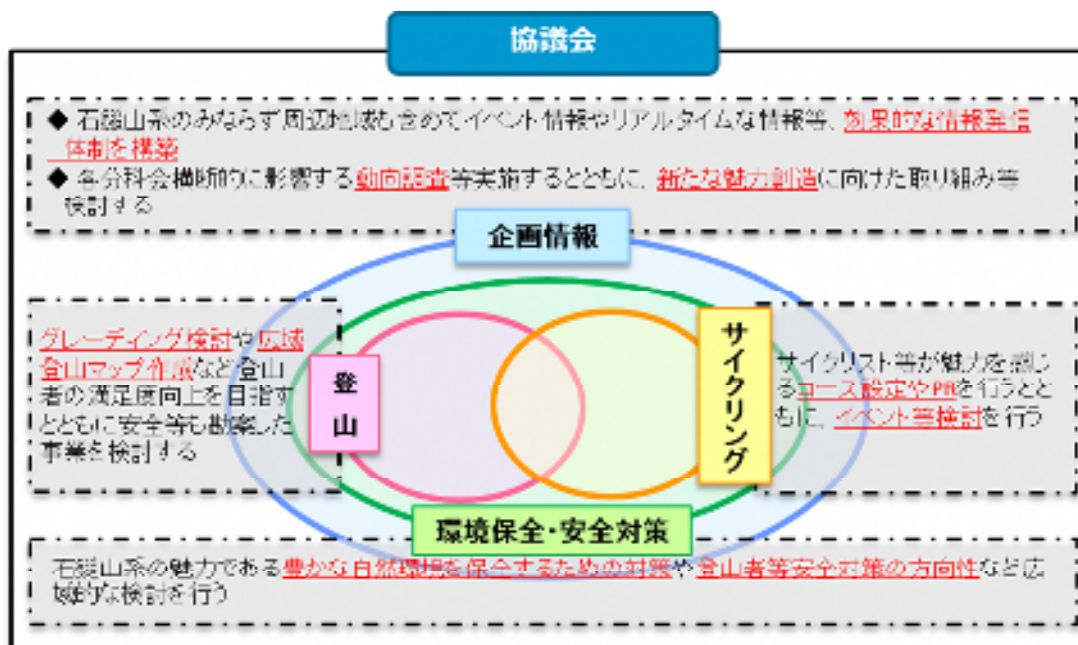
- ・西条市、久万高原町、いの町、大川村、民間事業者等が広域連携協議会を組織し、石鎚山系の誘客に向けた情報発信のみならず、利用者（旅行者、登山者、サイクリスト等）の満足度向上、利用者の安全対策、石鎚山系の魅力の一つである希少植生等環境保全対策等、複数の政策課題に対し、総合的に取り組みを行うもの。
- ・H28 年度は関係者でワーキンググループを開催し、課題の洗い出し等共通認識による意識醸成を実施。H29 年度 4 月に、協議会を設立し、「企画情報」「環境安全対策」「登山」「サイクリング」の 4 つの柱で事業を実施。

#### 4 背景・目的

- ・西日本最高峰の石鎚山をはじめとした雄大な石鎚山系を有する愛媛県西条市、久万高原町、高知県のいの町、大川村においては、石鎚山系をフィールドとした様々な取組をそれぞれが行っているのが現状であった。
- ・限られた資源の中において、より効率的な事業の実施、また、利用者（旅行者、登山者、サイクリスト等）の満足度向上のためには、行政の枠を超えた 1 市 2 町 1 村が連携した事業の実施が必要であるため、4 市町村が連携し、利用者増進等観光振興策を実施するとともに、登山者等の安全対策の充実、豊富な生態系を有する石鎚山系を持続可能な資源とするための取り組みなど、多岐にわたる取組を実施することを目的としている。

## 5 取組の具体的内容

- ・行政、民間等石鎚山系の関係者が一堂に会し、H29年度4月に、協議会を設立。
- ・「企画情報」「環境安全対策」「登山」「サイクリング」の4つの柱で事業を実施。



### 【平成 29 年度の実績】

- ・行政の枠を超え、石鎚山系の情報を発信する  
「石鎚山系公式WEBサイト」開設（平成 30 年 3 月 13 日オープン）
- ・4 市町村に跨るコースを設定したサイクリングマップ「天空R I D E」作成
- ・石鎚山系の登山ルートとその難易度を示す「石鎚山系グレーディングマップ」作成
- ・「石鎚ロングトレイル」として日本ロングトレイル協会加盟トレイルへ
- ・石鎚山系ライブカメラ設置（西条市、久万高原町、いの町） ※公式WEBサイトへ掲載

## 6 特徴（独自性・新規性・工夫した点）

- ・行政の枠を超え、石鎚山系を持続可能な資源とする事業を実施。
- ・協議会設立の前に、連携市町村及び石鎚山系関係者で石鎚山系に対する課題の洗い出しと現状の把握などの共通認識化を図り、そのメンバーを協議会委員とし、分科会形式で事業を進めている。

## 7 取組の効果・費用

- ・4市町村連携をしたことにより行政間の情報交換及び情報共有がしやすい環境となった。
- ・4市町村で連携し、石鎚山系のポータルサイトを作成することで、4市町村の情報を集約することによる利用者の利便性向上を図っている。

## 8 取組を進めていく中での課題・問題点（苦労した点）

- ・4市町村及び石鎚山系関係者との合意形成並びに意識統一。
- ・ターゲットの絞り込みと効果的なPR実施。
- ・今後の協議会の在り方（運営体制）については、今後の検討が必要。

## 9 今後の予定・構想

- ・平成29年度作成した公式WEBサイト並びにパンフレット（「天空RIDE」「石鎚山系ルートマップとグレーディングマップ」などをツールとした更なる石鎚山系の魅力発信に取り組む予定。
- ・協議会の在り方（運営体制）についても今後検討実施予定

## 10 他団体へのアドバイス

- ・広域連携するにあたり、各市町村並びに関係者の調整、合意形成が重要となってくる。そのため、足を運んで説明をすることや、お互いの情報共有、情報交換ができる関係・環境を作り、保っていくことに努めている。

## 11 取組について記載したホームページ

- ・取組について掲載しているHPがある場合には、URLを記入してください。
- ・石鎚山系公式WEBサイト <https://www.ishizuchisankei.com/>
- ・西条市HP <http://www.city.saijo.ehime.jp/soshiki/kanko/isizuchisannkeisenkeirennkei.html>